



## これ漢字？漢字という感じがせぬ漢字！

凸凹って漢字です。漢字という感じがしないのですが、いずれも見た目が図形的で特殊な漢字に見えます。この類の漢字は「象形」に分類されます。ほかにもそんな感じの漢字を集めてみました。

<p>でこ・とつ</p>	<p>凸る(とつ)るは、突撃すること。凸る(でこ)るは、飾りつけすること</p>	<p>しめ</p>	<p>封書の口を「閉め」たこと。また「締め」「絞め」「占め」の意味で使用される</p>	<p>こん</p>	<p>上下を通す意味を表す指事の漢字。通称ぼう、たてぼう</p>
<p>おう・ほこ</p>	<p>「Su凸koD凹koi」と書いて「すっとこどっこい」と読む？</p>	<p>あ・あげまき</p>	<p>枝分かれ、分岐という意味。童子の髪型の一つ</p>	<p>ちゅ・し</p>	<p>読点(、)と同じような形だがれっきとした漢字 主の意味</p>
<p>けっ</p>	<p>通称：はねぼう、かぎ。熟語の用例はなく、使い道がない漢字</p>	<p>とう</p>	<p>通称：なべぶた(鍋の蓋の形) けさん(卦算) かんむり</p>	<p>こおり・ひょう</p>	<p>ゝの字は氷(氷)の原字 水が凍って凝固した様子を象る。</p>
<p>いげた</p>	<p>井桁(いげた)携帯電話についているのがこれ。シャープの形は「#」で違う。</p>	<p>こっ</p>	<p>髪を剃った頭、高く突き出ているさまを表す漢字。円周率のπ(パイ)とは違う</p>	<p>ひ・さじ・あいくち</p>	<p>さじ、小刀、矢じり、七首(あいくち)</p>
<p>まんじ</p>	<p>吉祥の印である。仏教を象徴する記号</p>	<p>ほく・うらない</p>	<p>吉凶を示す、亀甲の割れ目。占う</p>	<p>がい・おさめる</p>	<p>草を刈る、治める、整理し統治する</p>
<p>々</p>	<p>踊り字、躍り字(おどりじ)は、同じ漢字や仮名を重ねるときに用いる符号。「色々」「国々」のように同じ漢字を繰り返す場合「々」を使う。通称は同の字点、もしくはノマ点という。「あ々」のように同じ仮名を重ねるときは「々」を使う。通称は一の字点という。</p>	<p>子子</p>	<p>読みはケツ・ゲツ。子子(ほうら)と読むひとりという意味の字である。子、子とは別の字。</p>		

他に「ム(わたくし・ござる)」「卍(あげまき)」「卍(さんじゅう)」もある。

## 重ね・組み合わせ漢字（理義字） りぎじ

同じ形が左右に並んだり、上下になったり、3つ・4つと組み合わせられてきている漢字を集めてみました。「えっ、こんな漢字あるの？」

読みは音読みがカタカナ、訓読みや意味をひらがなで書いてみました。

一文字	読み・意味	重ね文字	読み・意味	一文字	読み・意味	重ね文字	読み・意味
一	ニ、ジ ふた、ふたつ	三	シ・よん 数字の四を表す	人	ジン、ニン ひと、と	从	ジュウ、ショウ したが・う、 したが・える
刀	トウ かたな	刃	リ	力	リョク、リキ ちから	劦	キョウ
口	コウ・ク くち	品	ヒン、ホン しな	夕	セキ、ジャク ゆう	多	タ おお・い
大	ダイ、タイ おお、 おお・きい	尪	ヒ くらべる	干	カン ほ・す ひ・る	干	ケン・ヘイ たいら
弓	キュウ、ク ゆみ	弭	キョウ つよい	先	シン かんざし	𠂔	シン すると・い、 たす・ける
心	シン こころ	惇	サ、スイ うたがう	水	スイ みず	淼	ビョウ
犬	ケン いぬ	𤝵	ヒョウ つむじかぜ	戈	カ ほこ	𠂔	セン、サン うすい すくない
斤	キン、コン おの	斫	ギン、ゴン、 シツ、シチ あきらか	月	ゲツ、ガツ つき	朋	ホウ、ポウ とも
牛	ギウ、グ うし	犇	ホン はし・る ひしめ・く	可	カ よ・い べ・し	哥	カ、コ うた・う うた
示	ジ、シ しめ・す	祜	サン かぞえる	玄	ゲン、ケン くろ	玆	ゲン、シ くろ くろ・い
田	デン、テン た	畠	ライ・スイ・ ルイ とりで	白	ハク、ビャク しろ、しろ・い	畠	キョウ あき・らか
石	セキ、シャク いし	磊	ライ 石がごろごろ、 心の大きいさま	禾	カ、ワ いね、のぎ	秣	レキ・リャク ならぶ
立	リツ、リュウ た・つ、 た・てる	竝	ハイ、ビョウ なみ、 なら・べる	先	セン さき	𠂔	シン すすむ
百	ヒャク、ハク もも	𠂔	ヒョク・ヒ キ・ヒ 2百のこと	糸	シ いと	絲	シ、ベキ いと
羊	ヨウ ひつじ	羴	セン	耳	ジ、ニ みみ	聶	ショウ、ジョウ ささや・く
至	シ いた・る、 いた・り	𠂔	ジツ 到るという 意味	舌	ゼツ、ゼチ した	𠂔	クウ、ゲ、 カン たばかり
虫	キ、ケ むし	蟲	チュウ、キ むし	克	コク か・つ	兢	キョウ おそ・れる、 つつし・む
呆	ハウ、ポウ あき・れる ほう・ける	𠂔	バイ 梅の意	赤	セキ、シャク あか あか・い	赫	カク、キャク あか・い、 かがや・く

止	シ と・まる、 と・める	𪔐	ジウ しび しび・い	毛	モウ、ポウ け	毳	セイ、ゼイ むくげ
車	シャ くるま	轟	ゴウ、コウ とどろ・き とどろ・く	辛	シン から・い つら・い	辡	ベン うったえる
直	チョク、ジキ ただ・ちに、 なお・す	矗	チク なお・い	虎	コ、ク とら	虤	ガン 虎が怒るさま
金	キン、コン かね、かな	銓	キン お金がいっぱいあるの意	泉	セン、ゼン いずみ	灇	シュン、セン いずみ
原	ゲン、ゴン はら、わら	厖	ゲン みなもと	竟	キョウ ケイ	競	キョウ、ケイ きそ・う せ・る
魚	ギョ、ゴ うお さかな	𩺰	セン 新しい、魚の 臭いという意	鹿	ロク しか、か	麤	ソ あら・い
喜	キ、コ よろこ・ぶ	囍	※読みナシ めでたいし るし。双喜字	龍	リュウ、リョウ たつ	龍	トウ 龍の飛ぶさま
一文字 (母体字)	二文字 (双生字)		三文字 (品字様)				
ム	シ ござ・る	叒	リン 「隣」の古字	𠂇	ルイ 土を積み重 ねる	弱	ジャク、ニャク よわ・い、 よわ・る
土	ド・ト つち	圭	ケイ、ケ たま	垚	ギョウ 土地が高い さまの意	芻	ス、スウ まぐさ
艸	サ	艸	ソウ くさ	𪔐	キ 「卉」の本 字	競	キョウ、ケイ きそ・う、 せ・る
女	ジョ、ニョ おんな、め	姦	ダン いいあらそ う	姦	カン、ケン みだら、 かしま・しい	嫫	なぶる からかって ばかにする
子	シ、ス こ	孛	シ ふたご	孛	セン 弱いという 意味	嫫	うわなり 歌舞伎十八 番のひとつ
木	モク、ボク き、こ	林	リン はやし	森	シン もり	<p>同じ漢字を2つ、3つ、4つと組み合わせる構成される漢字のことを理義字(りぎじ)という。中国では、疊字という。古くは平安時代の小野篁による歌集『小野篁歌字尽』などに見られ、寺子屋などにおいて漢字を学習する際の手引き書(『童子字尽安見』『年中往来用文章』など)にも「理義字集」が見られる。</p>	
吉	キチ、キツ よ・い	喆	テツ 「哲」の異体 字	𪔐	テツ 「哲」の古 字		
言	ゲン、ゴン い・う こと	誾	ケイ 競う、言い争 う	𪔐	トウ 早口、早口 で喋る		
貝	バイ、ハイ かい	𪔐	エイ くびかざり	𪔐	ヒ、ビ いかる		
馬	バ、メ うま、ま	𪔐	トク はしる	𪔐	ヒョウ たくさんの馬 が駆けること		
一文字	二文字		三文字		四文字		
又	ユウ・ウ また	双	ソウ ふた	𪔐	ジャク したが・う	𪔐	テツ つづ・る
日	ニチ、ジツ ひ、か	𪔐	ケン ショウ さか・ん	晶	ショウ、セイ あき・らか	𪔐	日日是 好日?
火	カ、コ ひ、ほ	炎	エン ほのお	焱	エン ほのお	焱	イツ 燃えるさま